



疏水百選

水キラキラ

人いきいき



みどり
水土里ネット

水が支える豊かな社会

七ヶ用水地区管理体制整備推進協議会
水土里ネット七ヶ用水

悠久の大地は、豊かな水に支えられています。

今日のように豊かな水が流れてきているのはなぜ？

手取川扇状地は、手取川から取水した農業用水を流す「手取川七ヶ用水」により潤っています。

では、この手取川七ヶ用水は、どのようにして出来たのでしょうか？

七ヶ用水の由来

霊峰白山を源とした手取川は、氾濫を繰り返しながら「七たび流れを変えた」との伝承がある暴れ川で、長い年月を経てその地形は、日本の代表的な扇状地を造成したといえます。その分流や入川のあとを利用して、稲作を営むために、古くから七つの用水〔富樫、郷、中村、山島、大慶寺、中島、砂川（現・新砂川）〕をひいていたので、いつの頃からか「七ヶ用水」と呼ばれるようになりました。



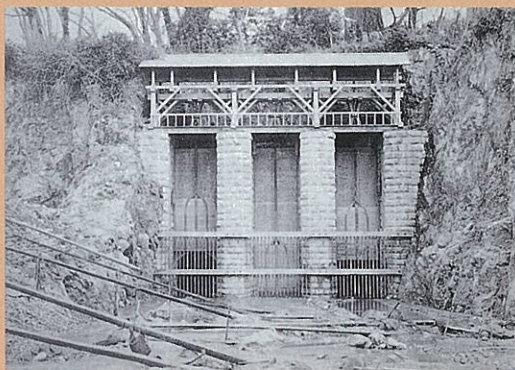
枝 権兵衛 文化6年(1809)～明治13年(1880)

現在の七ヶ用水に大いなる影響を及ぼした歴史的人物に枝権兵衛の存在があります。江戸時代に生まれた枝権兵衛は、水と人との生活を考え、農民の悲願であった安定した用水の取り入れを行うためにいくつもの苦勞を乗り越えながら、その生涯と全財産をかけて、安久瀧ヶ淵からトンネルを掘り、富樫用水に手取川の水を取り入れる事に成功し、人々に多大な恩恵をあたえました。後に、その遺跡に沿って合口事業（明治の大改修）のトンネルが造られた事から、枝権兵衛は「七ヶ用水の父」と言われています。

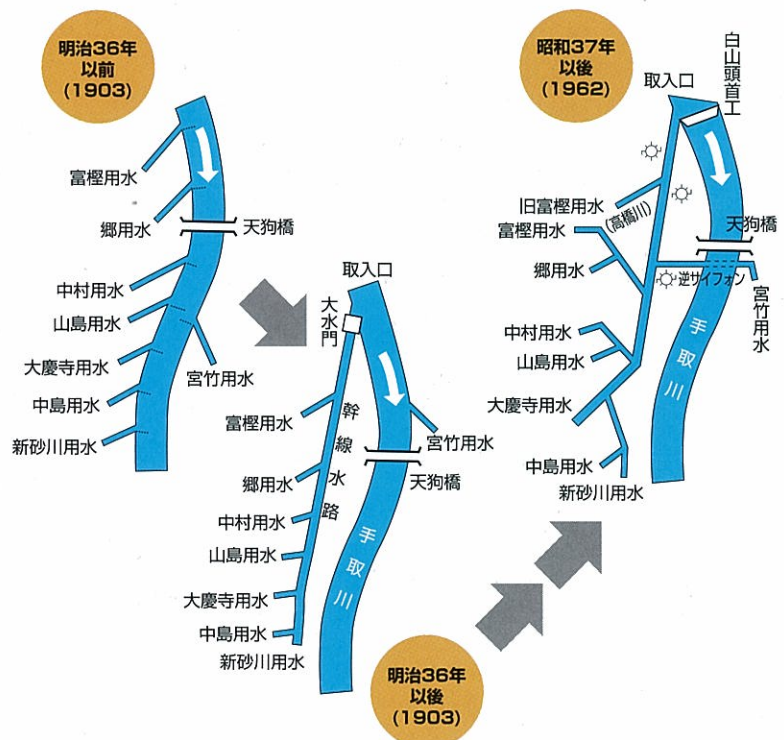


権兵衛のトンネル

明治の大改修



明治の大改修と呼ばれる七ヶ用水の取り入れ口を一つにする合口事業は、明治36年（1903）に竣工。ほぼ同時に「手取川七ヶ用水普通水利組合」が設立されました。



昭和の大改修

白山頭首工の嵩上げ（昭和24年、1949年完成）、国営大日川ダム建設（昭和43年、1968年完成）、幹線・支線水路140kmに及ぶ大規模な改修事業（昭和57年、1982年完成）を「昭和の大改修」と呼んでいます。また、昭和24年（1949）の土地改良法制定により、昭和27年（1952）手取川七ヶ用水普通水利組合から「手取川七ヶ用水土地改良区」に組織変更しました。



改修直後の的場分水工



大日川ダム



白山頭首工

平成の大改修

近年の営農形態の多様化と都市化の影響を受け、用水路の老朽化対策と雨水排水による溢水対策としての改修事業等を「平成の大改修」と称し現在取り組んでいます。

環境整備

従来の農業用水路といえば、コンクリート三方張水路でした。近年は、忘れかけていたふるさと、農村に目を向けられるようになりました。そのような時代の流れにあわせて、地域の景観等を考慮して水路を利用した環境整備がなされています。



白山市八束穂地内

防災整備

農地の汎用化や、工業、商業、住宅用地等が増えたことから、降雨時に下流域で洪水が発生するようになりました。農地はもとより、近隣住宅地や工業用地の浸水を防ぐため、たくさんの水を流せるように改修しています。



改修前

施設整備

昭和の大改修で整備された農業用水路は、造成後約30年以上経過しつつあることから、施設更新事業として実施しています。



松任中央地区

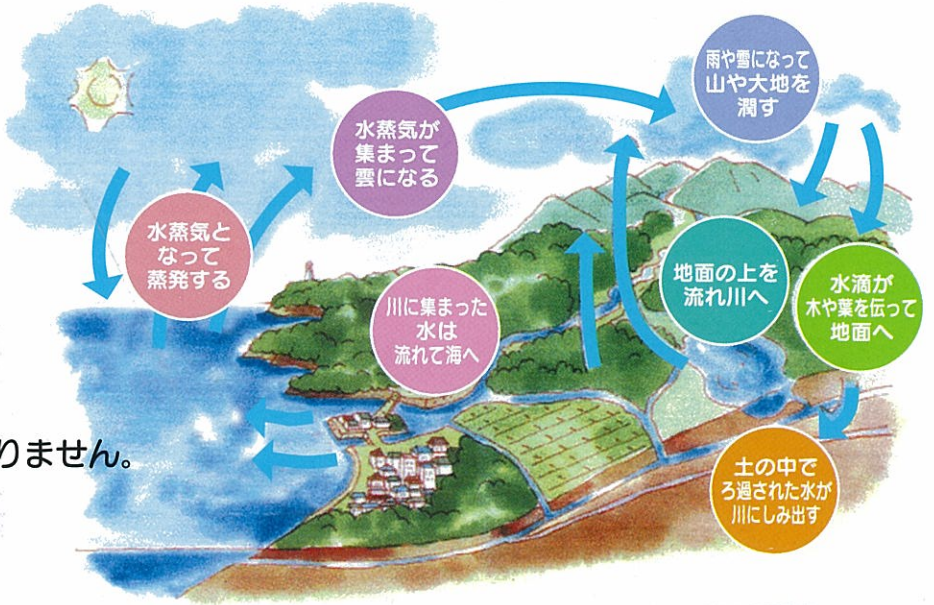


改修後

水はどこからやってくる?

この手取川の水は、
 霊峰白山を源としています。
 では、白山にはどこから水が
 やってくるのでしょうか。

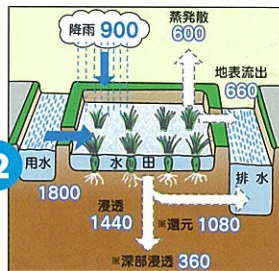
水は右図のように、
 地球上を循環しています。
 手取川の水も、
 この循環のほんの一部でしかありません。



どのようなことに利用されているでしょう。



1 農業用水
 稲作や畑などでの作物の
 育成に使用されています。



2 地下水保全
 農地や水路から浸透して
 地下水となっています。



3 親水用水
 水辺のある公園などの池や
 せせらぎなどの
 水源となっています。

4 防火用水
 火災の際、消火活動に
 使用されています。



5 景観・生態系保全
 水が扇状地の四季折々の
 景色を維持する手助けと
 なっています。
 また、様々な生き物の
 生活の場となっています。

融雪・消雪
 雪を融かしたり、
 流したりしています。



7 生活
 枝線では、
 ちょっとした洗い物などに
 利用されることがあります。

地域排水
 住宅地や農地が水浸しに
 ならないようにしています。

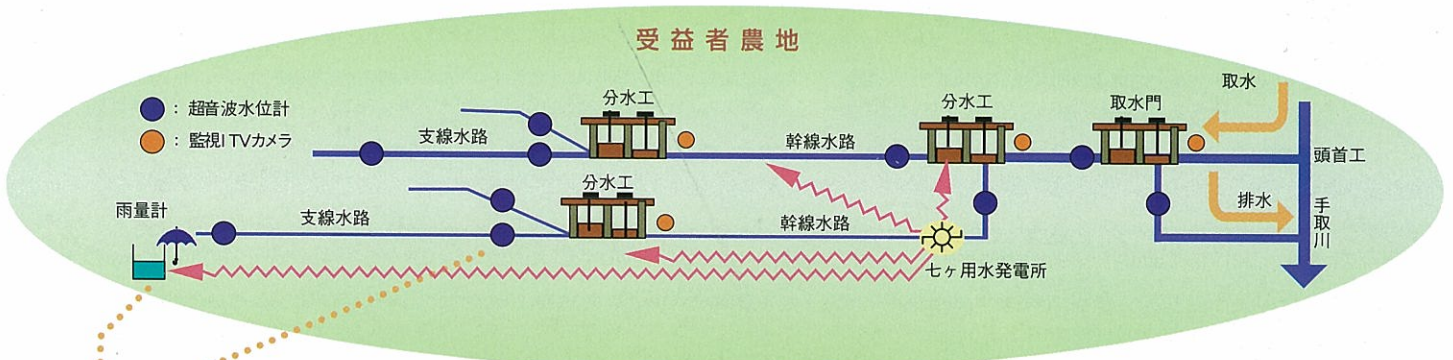


9 発電
 流れる水を利用して
 電気をおこしています。

色々な事に利用されています。

水利施設総合管理と発電所

新時代の用排水管理を、水利施設総合管理システムの導入により実現し、地域の皆様へ安心と安定を供給しています。今回導入の用排水シミュレーションにより、地区内での溢水被害（頻度、被害面積）が減少しました。また、農業用水を利用した七ヶ用水発電所の運転を開始し水資源の有効利用にも取り組んでいます。



七ヶ用水発電所

七ヶ用水発電所は、最大出力630kWの、農業用水を利用した環境に優しい小水力発電所です。ここでは、1年間に、標準的な家庭、約1,100戸で1年間に消費する電気量に相当する電気をおこすことができます。また、平成14年施行の新エネルギー法（RPS法）の認定も受けています。

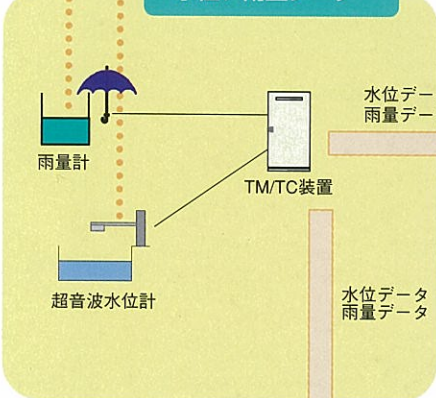


制御室

発電機室

監視
制御

水位、雨量データ

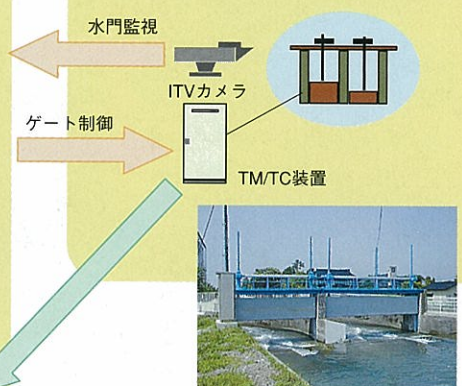


操作室



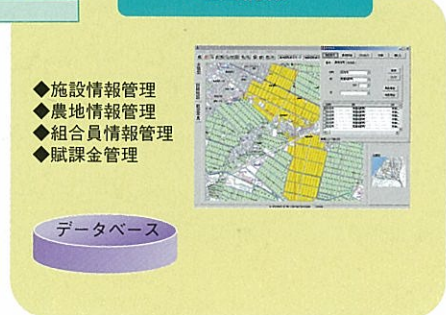
監視
制御
管

ゲート制御、映像監視

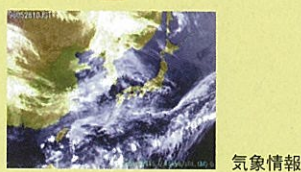


- 最適な水配分・災害防止
- 地図情報で業務効率化
- 降雨予測で災害防止対策

地図情報



シミュレーション



気象情報



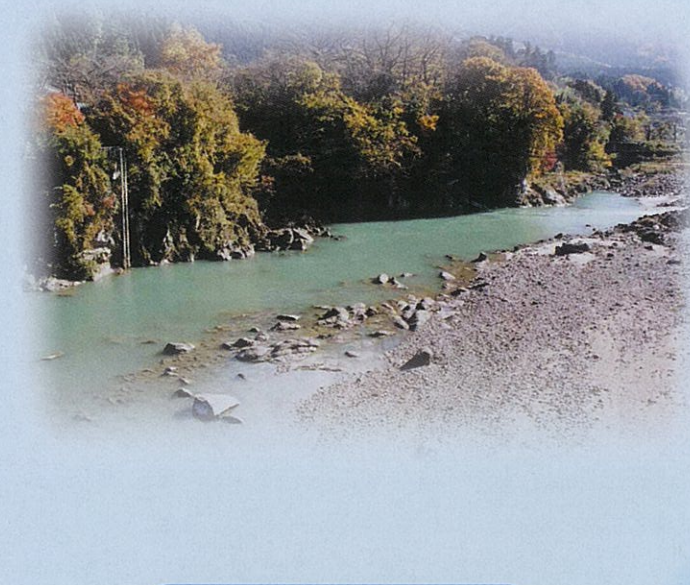
降雨予測と水位データにより、事前に水を減らす。

水路にゆとりをもたせた部分で、雨水を受け入れ洪水を抑制している。

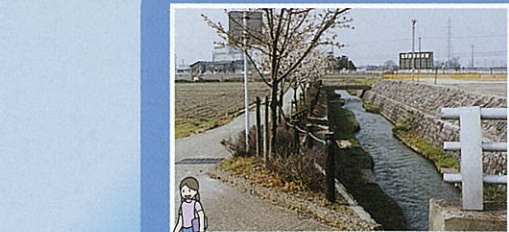
七ヶ用水の紹介

七ヶ用水は扇状地を恵(水)ネットで潤します。

七ヶ用水のかんがい区域は、東は富樫山麓から西は日本海に面し、南は手取川から北は犀川左岸流域に接する県内最大の穀倉地帯です。



親水公園
富樫、山島、新砂川用水に七ヶ用水を水源にした親水公園があります。

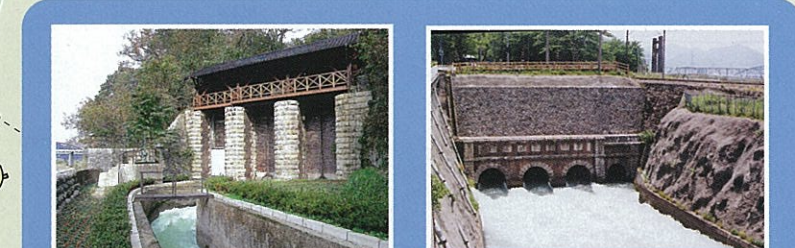


遊歩道
富樫、郷、山島用水の水路堤防を利用して造られています。

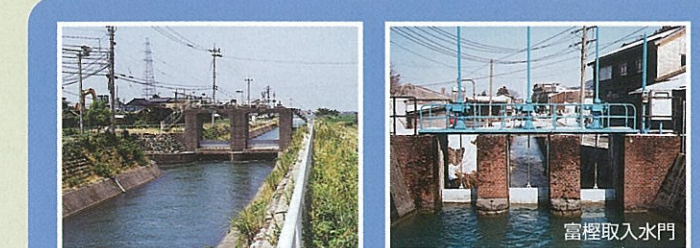
- 凡例
- 幹線
 - 山島用水
 - 富樫用水
 - 大慶寺用水
 - 郷用水
 - 中島用水
 - 中村用水
 - 新砂川用水



白山管理センター
ここでは、取水した水を配分調整する操作室を備えた拠点事務所です。2階は、資料館となっており、だれでも見学することができます。



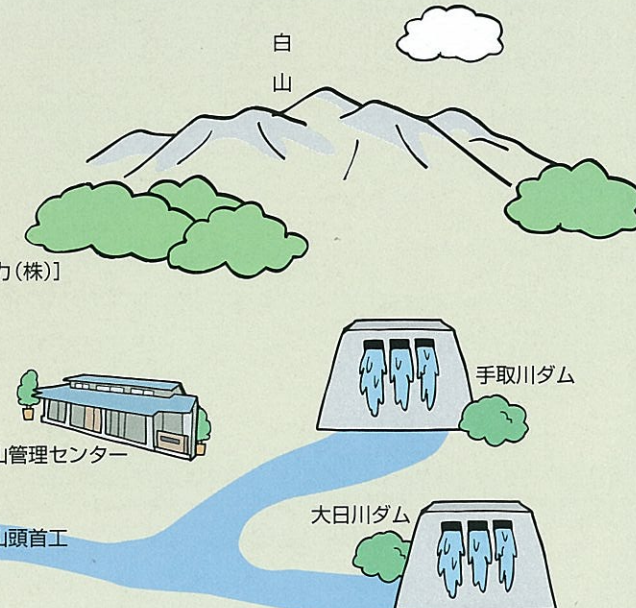
大水門
明治36年完成当時の姿を今に伝える歴史的農業土木施設です。給水口と共に、当時のまま利用されている、貴重な施設です。



取水門
現在、富樫取水門と共に、七ヶ用水の取水量を制御する要の水門です。かんがいや雨水排水時の取水停止などの取水量制御を行っています。



七ヶ用水発電所
農業用水を利用した水力発電所です。



地域で育まれる用水に

●●● 歴史ある用水路、今はどんなことがありますか？ ●●●

これらのたくさんの誰が捨てたかわからないゴミは農家の方々が、手間と費用を出し合っ
て処分しています。
また、当改良区では、年に一度、一斉点検、
除草管理、害虫防除を行っています。自治体
では、自治体挙げての一斉清掃日もあります。



ゴミがたくさん集まってきている現状につい
て、よく知っていただこうと、毎年場所を変
えながら、ほんの一部区間ではありますが、
清掃ボランティアという催しをしています。

●●●●●●●●●● 水路清掃をすると ●●●●●●●●●●



みんなで拾うと



こんなにたくさん！



きれいになった水路

●●●●●●●●●● みんなで調べてみると ●●●●●●●●●●



きれいになった水路で
生き物調査



アユ



モクスガニ



ドジョウ

これらの他にもたくさんの種類の
魚や、貝、エビなどの
生き物がいます。

このように、川（水路）は、人間だけが利用しているわけではありません。

昔から、七ヶ用水は、田畑を潤し、村々では生活用水として活用され、流域の人々により清らか
さを守ってきました。

近年は、水路にゴミが混入し、汚れが目立ってきております。

これらの現実を知って頂けるようウォークラリーや清掃ボランティア、七ヶ用水セミナー、施設
見学会などにも取り組んでいます。これからも、かつてのように、地域の皆様に育まれ、潤いあ
る生活空間の一端を担う清らかな用水として、また、洪水を抑制する水管理にも取り組みながら、
“水（用水・水路）が支える豊かな社会” 作りを目指します。

★ 手取川七ヶ用水土地改良区

〒924-0871 石川県白山市西新町159番地2 TEL 076-276-1166 FAX 076-276-1167
URL <http://www.shichika.or.jp/>